

平成29年美濃加茂市議会第2回定例会一般質問通告一覧

No.	議員名	質問要旨
1	渡辺孝男 真摯会	<p>1 応急手当普及員について</p> <p>① 消防職員に代わり指導ができる救急救命普及員についての考え及び市内で何名の方が受講しているか</p> <p>② 非常に良い公的資格の制度であるが、講習のPR等、市としてどの様に取り組んでいるか</p> <p>2 防災士資格取得費補助金の利用状況について</p> <p>① 資格取得には市の補助金制度があるが、利用状況及び1人当たりの取得費用はどれだけか</p> <p>② 防災士研修センターの資料を見ると、防災士講座受験料等総額約6万円の費用であるが、全て補助対象になるか</p> <p>3 地下道の電灯を省エネ・環境にやさしいLED化とする考えについて</p> <p>① 本市のホームページに、「国道2カ所の地下の照明をLED化したところ、省エネ・CO2削減等環境保護に貢献」とあるが、市が管理する地下道のLED化も考えてはどうか</p> <p>② 市内には10か所の地下道があるが、24時間点灯している地下道をLED化した場合、どの程度効果があるか把握・試算されているのか</p> <p>4 書類の紛失、誤送付等の対策について</p> <p>① 昨年度から、事務上の誤り等で、市民の方に迷惑をかける事案が発生している。その都度今後の対策として、複数人でチェックするとあるが、複数人とは何人でチェックするのか、または定義等はあるのか</p> <p>② 過去の事案についても再発防止対策として、複数人で確認するとあるが、十分な職員数は確保されているか</p> <p>③ 同じ誤りが必ず発生しないようにすることが、正しい再発防止の対応であるが、庁舎内で再発防止対策の会議等はしているか</p>
2	渡辺益巳 創政会	<p>1 市長二期目の抱負について</p> <p>① 「未来への挑戦」「孫子の代まで住み続けられるまち」を理念に美濃加茂市の飛躍のため全力で取り組んで来られた。そこで、一期目の総括と自己評価は</p> <p>② 将来の美濃加茂市のあるべき姿と市長の想いは</p> <p>2 市長の政治姿勢について</p> <p>① 災害時の危機対応は市民、地域、民間や自治体との連携を積極的に展開する。具体的な取り組みは</p> <p>② 公共施設等総合管理計画の対象範囲の小学校統廃合と小規模特認校事業の取り組みは</p> <p>③ 任期満了による5月の市長選挙及び控訴審について</p> <p>I 選挙は結果的に無投票となったが、有権者の反応等、市長の所感は</p> <p>II 裁判を抱えたまま市長職を続ける点について、「これからは政策とともに、今の裁判の状況を説明していきたい」と述べたと報道されていたが、どのような機会をとらえて、市民や議会へ説明していくのか</p> <p>III 失職のリスク、覚悟、心境はどれほどのものか</p> <p>3 PFI事業について</p> <p>① 社会医療法人厚生会が建設を計画している仮称総合医療センターと美濃加茂市が計画している新庁舎建設計画の中で医療関係の部門、市保健センターを併設か間借りする民間資金活用を導入する考えはないか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
2	渡辺益巳 つづき	4 災害対策事業について ① 加茂川総合内水対策計画として、西中学校、山之上小学校、東総合グラウンド、西総合グラウンド、山手小学校、前平運動公園の雨水貯留施設整備のすべての完成はいつか ② 加茂川排水機場ポンプ5基設置でフル稼働した場合毎秒25トンの排水が可能であるが、護岸工事完全完成はいつか
3	片桐美良 新生会	1 市長の政治姿勢について ① 1期目の総括 ② 今後の基本姿勢 ③ 今後の雇用先確保（工場誘致）についての考え ④ 高齢者対策 2 昭和村について ① リニューアル構想案と投資計画及び年次計画 ② 地域（美濃加茂市）との連携策 ③ 入園料の無料化に対する考え ④ 株主交代後の美濃加茂サービスエリア状況 ⑤ 里山の湯の再開時期 3 非常勤職員の現状処遇改善について ① 正規職員・非正規職員の人数と男女比率 ② 給与改定の時期とその基準 ③ 多言語通訳者と手話通訳者の給与格差是正
4	佐合広和 新生会	1 飛騨・木曾川国定公園内の環境整備について ① 旧青柳橋右岸の説明書き銅板の所在は ② 旧青柳橋左岸のポケットパーク内の説明書き文面についての所見は ③ 旧青柳橋両岸跡地の管理者は ④ 旧青柳橋右岸の広告塔と景観についての所見は ⑤ 飛騨・木曾川国定公園連絡協議会の活動内容は ⑥ 青柳薪水湖を利用した観光開発への所見は 2 山之上地区の梨の花と観光PRについて ① 梨の花の美しさをもっとPRすることについての所見は
5	前田孝 日本共産党 美濃加茂市議団	1 ふるさと納税の現状と総務省通知について ① 現在のふるさと納税の状況（受付件数・金額・返礼品種類）は ② 総務省の返礼品見直し要請に対しどの様に対処されるか I 対象となる返礼品について II 対応未定又は見直す予定がない返礼品について III 見直しの進捗状況を報告とあるが、いつまでにどのようにするか IV 総務省通知に対して近隣の自治体の対処状況 ③ 返礼品の調達価格割合の高いものについては寄付額の変更で対処できないか ④ ふるさと納税者の方々への本市のPRはどの様にされているか。リピーターになっていただくためにも、「ふるさと納税住民票」等の発行など推進してはどうか

No.	議員名	質 問 要 旨
5	前田孝 つづき	<p>2 インターネット利用した交流システム（SNS）の子どもたちの利用内容について</p> <p>① 美濃加茂市の小・中・高校生たちがスマートフォンを所持している割合</p> <p>② 「既読スルー」によるトラブル</p> <p>③ 「裏サイトグループ」によるトラブル</p> <p>④ 小・中・高校生の一日の利用時間</p> <p>⑤ 今後のスマートフォン利用のルールについての対策</p> <p>3 災害時情報伝達体制確立事業について</p> <p>① 「FMらら」からのケーブルテレビの回線を利用した情報伝達や「ラジオ」受信できる契約についての進捗状況</p> <p>② スマートフォンに「FMらら」のアプリをダウンロードすることで情報を受信できることを市民に周知する必要があるかどうか</p> <p>③ 戸別受信機ラジオ1,600台の利用状況</p> <p>④ 今後戸別受信機ラジオを計画的に全戸に設置すべきではないか</p>
6	高井厚 新生会	<p>1 下水道事業経営戦略の今後について</p> <p>① 企業採算の悪い農集排水の扱い 農集排水の汚水処理原価411.8円と極めて高く、経費回収率も37%と低過ぎる値で推移している。その背景分析と公共下水道接続への見通しや計画</p> <p>② 水洗化人口は順調に伸びるか 水洗化人口は10年後の2026年度には現在より5,000人アップの50,260人、水洗化率も85%から90%を目指している。水洗化率は見込みどおりに向上するのか、どのような取り組みを考えているのか</p> <p>③ 企業債残高は順調に減っていくか 平成27年度末の残高はざっと206億9千万円で、期首より7億円程減少しているが、新経営戦略では10年後の残高をどう見通しているのか</p> <p>④ 自己完結型汚泥燃料化システムのその後 I 蜂屋川クリーンセンターで計画を予定しながら、住民の声で中止を余儀なくされた先の汚泥燃料化システムの考えはどうなっているか。また本市以外での採用自治体はあったのか II 処理汚泥の運搬等処理の費用と今後の見通し</p> <p>2 教育指導充実に向けた小中学校定期人事異動について</p> <p>① 再任用校長配置へのスタンス I 本県では9人、本市にも一人定年後の校長先生が在職している。この岐阜県の校長再任用制度採用の背景と今後の展望 II 再任用校長配置への市教育委員会としての基本的な構えや考えは</p> <p>② 本市における小中校間の異動の状況 I 小学校勤務の中学校教科免許所持者で中学校への異動希望者は多くないと聞く。本市小中校間の異動にはどのような姿勢で臨んだか II 小学校の校内人事では、高学年担当希望者の現状をどう把握しているか III 中学校の校内人事での学級担任希望の状況と部活動顧問配置の現状</p> <p>③ 常勤講師と新規採用教員の現状 I 県下では440人の新規採用教員があった。本市の配置状況 II 講師には大きな期待がある一方で、不安を感じる向きもある。常勤講師の数、学級担任配置への市教委の考え方</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
6	高井厚 つづき	<p>④ 小学校での教科指導の充実発展への見解 小学校担任が全教科を学級で担任することについては、そのマイナス面を指摘する声は途絶えていない。特に高学年児童は教科免許状所持者から学ぶことで、学力向上がさらに図られるのではないか</p> <p>3 農道の整備の方向性について</p> <p>① 平成29年度当初の未舗装の距離、舗装計画</p> <p>② 舗装には市費単独での対応はしているのか</p> <p>③ 未舗装の農道には轍が深くつきやすく、草も刈りにくい状況である。耕作者は畔や法面の草刈りで手一杯の状況である。対応策はないか</p>
7	酒向信幸 創政会	<p>1 カミーノについて</p> <p>① まち・ひと・しごと創生総合戦略は地方の人口減少に対応するために本市が焦点を「女性」に絞った「カミーノ」が実質3年目を迎えるが、カミーノの策定から2年をどうとらえるか</p> <p>② 昨年のキックオフ大会から1年、本市に広がりつつある「カミーノ」、市民からの反響はどのようなものがあったか</p> <p>③ 昨年9月から「女性が輝けるまち みのかも」の実現に向けて、女性のアイデアをまちづくりに生かすために、高校生から子育て世代の女性が集まって開催されたカミーノ推進ワークショップから出された提案から、先ず取り組むべきことは何か</p> <p>④ カミーノアクションプラン（平成27年度～平成31年度）も中間期となり、5つのステージには取り組む事業も多くあるが全体的に今の進捗をどうとらえるか</p> <p>⑤ 夢を叶えた人、まだこれから夢を実現しようとしている人に美濃加茂でよかったと思えるようにしていくための支援策は</p> <p>2 地域活性化について</p> <p>① 地域活性化支援事業に予算化されている総務省の「地域おこし企業人交流プログラム」は任期が限られている中、美濃加茂市がどのような「まち」と映ったか。課題や取り組むことが見えたか</p> <p>② 地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、定住・定着を図る「地域おこし協力隊」を取り入れる考えは</p> <p>③ 地域の活性化は地域の価値を長期的に向上させることによって、人口やお金の流入であると考えている。今年度は幅広い施策に取り組んでいるが、本市にとって必要なことは何か</p>
8	金井文敏 市議会公明党	<p>1 企業誘致課の設置の必要性について</p> <p>① 美濃加茂市の将来像 今後人口は約20年増加していく予想であるが、少子高齢化は徐々に進行していき、最大の収入源である市税が減少し、扶助費が増加し、財政への影響が懸念されている</p> <p>② 企業誘致の在り方 今までの投資の企業誘致の取り組みは、功を奏し誘致に至ったが、その後、企業が撤退し地域の持続的な経済成長にはつながらなかった</p> <p>③ 税収増対策 財政の問題として、歳入の大半を占める市税が減少し扶助費等の義務的経費が増加すれば市民生活にも影響がでる。国や県の財政状況から、今後の交付金や補助金に依存できないのではないか</p> <p>2 ハザードマップのCUD採用について</p> <p>① カラーユニバーサルデザインの必要性 色の見え方が一般と異なる人は、日本人男性の20人に1人（5%）、女性の500人に1人（0.2%）、日本人全体で300万人以上いるとされている。多様な色覚を持つ様々な人に配慮して、なるべく情報が正確に伝わるようにする必要があるのでないか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
8	金井文敏 つづき	<p>② カラーユニバーサルデザインの重要性 現代社会において、「色」はますます重要な情報伝達の手段になっている。パソコンの普及で簡単に「色」を使えるようになった。印刷技術の向上で様々なものがカラーになっている。操作画面や家電製品などのパイロットランプも多色が用いられている。ところが、色弱者には情報を読み取れず不便を感じるケースが見逃されている。災害時には特に重要となるのではないか</p> <p>3 犬及び猫の避妊・去勢手術補助金について</p> <p>① 殺処分の状況 「82,902」平成27年度に全国で殺処分された犬猫の頭数である。動物保護管理センター等で殺処分される犬猫は、無責任な飼い主に飼育放棄された犬猫や迷子の犬猫、所有者がいない犬猫等であり、人と動物が共生できる社会の実現のために、飼育されていない人を含めて、多くの人の動物に対する理解が必要ではないか</p> <p>② 避妊・去勢手術の必要性 野生では子孫を残すことはとても重要だが、人間と暮らすうえでは、ブリーディングに使われる動物以外、生殖能力は必要ない。しかし、動物本来の本能に従い、望まれずに生まれてくるケースが後を絶たず、やむなく殺処分されている。そのようなかわいそうなケースを減らすために、飼い犬・飼い猫に避妊・去勢手術を施すことが大切ではないか</p> <p>③ 人と動物が暮らす社会の実現 人と動物の共生とは、捨て犬・捨て猫の防止、野良犬・野良猫を増やさず、安全で快適な生活を営めることではないか</p>
9	牧田秀憲 真摯会	<p>1 二期目の所信表明について</p> <p>① 二期目への挑戦に対し具体的な政策をあげるなら</p> <p>② さらなる改革、改善を目指し市政に取り組む思いとは</p> <p>2 受動喫煙について</p> <p>① 現在の各公共施設の喫煙場所についてどのようになっているか</p> <p>② 受動喫煙防止法について市としての取り組みをどう考えるか</p> <p>③ 受動喫煙防止策は</p> <p>④ 保育園・小・中学校の喫煙場所についてどのようになっているか</p> <p>3 ヤギに関する産官学連携について</p> <p>① ヤギさんの研究報告会が行われた。4年間積み重ねられてきた研究の成果として市の感想</p> <p>② 新たなヤギさんの研究に繋げていく重要性は何か</p> <p>③ 来年で5年間の産官学連携の調査・研究が終わるが、新たなステップ、覚書の締結はあるか</p> <p>④ 全国山羊サミットが行われるが市の関わり方は</p>
10	日置祥子 日本共産党 美濃加茂市議団	<p>1 国民健康保険について</p> <p>① 平成29年度本算定による一世帯あたりの保険料の平均は</p> <p>② 平成30年度の都道府県化に向けた県市町村連携会議等における協議の内容は</p> <p>③ 第2回目の保険料の試算内容は</p> <p>④ 試算結果を踏まえて、市長の見解は</p> <p>2 食育について</p> <p>① 本市の食育推進計画の策定状況は</p> <p>② 本市における食育の具体的な取り組みは (例) 食育を行う時間割(学年ごと)、教科は</p>
10	日置祥子	<p>3 就学援助施策について</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	つづき	<p>① 就学援助対象の要保護者と準要保護者の児童・生徒数と、全体に対する認定割合は</p> <p>② 本年度、本市において援助金の支給額の増額及び入学準備金の前倒しを、準要保護者に対しても、要保護者と同様に適用したか</p> <p>③ 準要保護者の拡大の検討は</p> <p>4 美濃加茂市移送サービスモデル事業について</p> <p>① 事業の概要は</p>
11	村瀬正樹 新生会	<p>1 忙しすぎる教師の働き方改革について</p> <p>① 勤務時間、勤務体制の実態</p> <p>I 休職者、病欠者</p> <p>II 退校時刻</p> <p>III 年休取得状況</p> <p>② 過負担要因への対応</p> <p>I 退校時刻の設定</p> <p>II 補助教員の市単採用</p> <p>III 移行期間中の外国語活動</p> <p>IV 道徳の教科化</p> <p>(1) 教育勅語についての所見</p> <p>(2) 本市の道徳教育</p> <p>(3) 人権教育</p> <p>V 部活動の外部担当</p> <p>VI 問題行動</p> <p>2 堂上蜂屋柿の果樹共済制度設立について</p> <p>① 中濃地域農業共済事務組合の共済事業の1つに加えられないか</p> <p>② 市単独での制度設立は</p>
12	坂井知足 創政会	<p>1 みのかも定住自立圏事業について</p> <p>① 定住自立圏事業の成果と課題 定住自立圏構想がスタートして8年が経過し、これまでいろいろな事業が推進されているが、総事業費とその成果はどのように表れているか。また、今後の課題としては何が考えられるか</p> <p>② 「つながる事業」の現状と効果 みのかも定住自立圏事業の一つに、「つながる事業」があり、先月、選考会が行われた。事業採択されると、以降、3カ年にわたり補助金が支給されることになる。今年の応募、採択事業の現状と過去の事業の効果は</p> <p>③ 定住自立圏事業の今後の取り組み 定住自立圏は、現在の第2次共生ビジョン中であるが、今後の事業展開とその取り組みは</p> <p>2 保育園（こども園）の現状と整備計画等について</p> <p>① 少子化に伴う保育園の定員（増減） 全国的に少子化が進む中であって、本市の保育園入園年齢児の推計（増減）は、また、これらに伴う各保育園の定員は</p> <p>② 子ども園の設置目的と今後の対応 今年4月より、「山之上保育園」が「山之上子ども園」と変更になった。保育園との違いは。また、これに伴う保育士、または園児の対応は</p>
12	坂井知足 つづき	<p>③ 公立保育園施設の整備計画の推進 今年4月策定の整備計画に定める、統廃合による建て替え、民間活力の導入などの整備基準や条件は。また、この計画に基づく施設整備の実施時期は</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
		<p>3 図書館の利用増進と維持管理について</p> <p>① 市図書館の現状と利用増進 本市には、中央・東図書館、北分室の2館1分室がある。それぞれの館の特徴、来館者、蔵書冊数、貸出冊数等現状、また、イベントや各種サービスによる利用増進は</p> <p>② 市図書館と小・中学校図書館との関係 市の図書館と市内小・中学校の図書館とは、どんな関係にあるのか。児童・生徒の市図書館利用の現状</p> <p>③ 市民要望、課題等への対応 市民満足度調査による市図書館への市民の要望に対する取り組み</p> <p>④ 図書の紛失、損傷件数 図書の紛失や損傷は、年間どの位あるのか。また、具体的にはどんな事例があるのか</p>
13	柘植宏一 新流	<p>1 市長の政治姿勢について 所信表明では十分に言及されていない政治課題について</p> <p>① 学校教育について</p> <p>I いじめ・不登校対策</p> <p>II 教師の繁忙対策と部活動の在り方</p> <p>② 高齢者福祉について</p> <p>I 新しい総合事業等、介護保険制度改正に係る施策は</p> <p>2 総合計画策定について</p> <p>① 第5次総合計画の評価と総合計画のあり方</p> <p>② 総合計画策定と市民参加</p> <p>3 発達障がい支援について</p> <p>① カナリヤの家における相談支援の現状と課題は</p> <p>② カナリヤの家における児童発達支援の現状と課題は</p>
14	渡辺義昌 創政会	<p>1 昨年9月に行われた市民満足度調査について</p> <p>① 毎年行われているが、平成26年度が行われなかったのはどうしてか</p> <p>② 昨年度の市民満足度調査で注目すべき項目は何か</p> <p>③ 5年前と比較し注目すべき項目は</p> <p>④ 「2 暮らし 問9 昨年の同時期と比較したくらしの様子」について、約1/4 (25.3%)の方が「苦しくなった」と言っている。「同問10 今の暮らしの感じ方」は「まだまだ不満だ」と、「きわめて不満だ」で33.8%にもものぼっている。要因は何か</p> <p>2 保育園施設整備計画について 公立保育園の老朽化による修繕、部分的な修繕が必要な園が多々ある。また、公立保育園整備計画が先般発表されているが、その内容について</p> <p>① 老朽化の現状と修繕の現状は</p> <p>② 整備計画に対する説明会での意見はどの様なものがあつたか</p> <p>③ パブリックコメントではどのような意見があつたか</p> <p>④ 整備計画の期間は20年間としているが、早い時期での対応が必要ではないか</p> <p>⑤ 統廃合、施設の複合化の計画は</p> <p>⑥ 公立保育園、民間委託のメリット、デメリットは</p>
14	渡辺義昌 つづき	<p>3 ICT化の取り組みと現状 本市における公共施設の予約やeLTAx、図書館の貸し出しなどICT化の取り組みは相当進んでいると思う。本年度はマイナンバーが本格的に利用されるようになるが、本市のICT化、電子自治体の現状について</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
		① ICT化の現状は ② マイナンバー制度における利用の変更はあるか ③ 情報漏洩、システムダウンの危機管理体制は ④ 今後の計画はあるか